

津波に対する備え

地震＝津波→すぐ避難！

地震は、いつ襲ってくるかわかりません。地震に伴う津波もいつ襲ってくるかわかりません。皆さんが海辺や港など海の近くにいるときに、津波に対してどんな行動が大事なのか、一人ひとりがそのことを知っておくことは、ご自分自身や周囲の人の命を守るうえで、非常に重要です。

以下の点を「津波に対する心得」として持ち、津波による災害から身を守りましょう。

<一般編>

- ▶▶ 強い地震（震度4程度以上）を感じたとき又は弱い地震であっても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに海浜から離れ、急いで安全な場所に避難する。
- ▶▶ 地震を感じなくても、津波警報が発表されたときは、直ちに海浜から離れ、急いで安全な場所に避難する。
- ▶▶ 正しい情報をラジオ、テレビ、広報車、防災行政無線などを通じて入手する。
- ▶▶ 津波注意報でも、海水浴や磯釣りは危険なので行わない。
- ▶▶ 津波は繰り返し襲ってくるので、警報、注意報解除まで気をゆるめない。

<船舶編>

- ▶▶ 強い地震（震度4程度以上）を感じたとき又は弱い地震であっても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに港外（水深の深い、広い海域）退避する。（注）
- ▶▶ 地震を感じなくても、津波警報、注意報が発表されたら、すぐ港外退避（注）する。
- ▶▶ 正しい情報をラジオ、テレビ、無線などを通じて入手する。
- ▶▶ 港外退避できない小型船は、高い所に引き上げて固縛するなど最善の措置をとる。（注）
- ▶▶ **津波は繰り返し襲ってくるので、警報、注意報解除まで気をゆるめない。**

（注） 港外退避、小型船の引き上げ等は、時間的余裕のある場合のみ行う。

◆ (参考) その他の津波に関する知識

- ▶▶ 1 津波の原因は、地震によるものが最も多い。(地震のほかに、火山噴火による津波などがあります。)
- ▶▶ 2 V字型の湾(リアス式海岸など)は危ない。(一般に外洋に直面するV字型の湾や海岸で、陸に近づくにつれて急に浅くなっているところでは、津波の波高は急に高くなります。)
- ▶▶ 3 津波は川を逆流することがある。(避難するときは、川沿いを避けましょう。)
- ▶▶ 4 **津波は繰り返し来襲する。(津波は時間をおいて何回か繰り返し襲ってきます。また、第1波、第2波、第3波の方が高くなることもあります。)**
- ▶▶ 5 海の異常現象を感じたら、警戒し、避難する。(津波が来襲する前兆として、遠雷のような音が聞こえたり、干潮でもないのに海水が急に引いたりしたということが言われています。)

福島県災害対策課

〒960-8670 福島県杉妻町 2-16

電話：024-521-7194

FAX：024-521-7920

saigai@pref.fukushima.jp